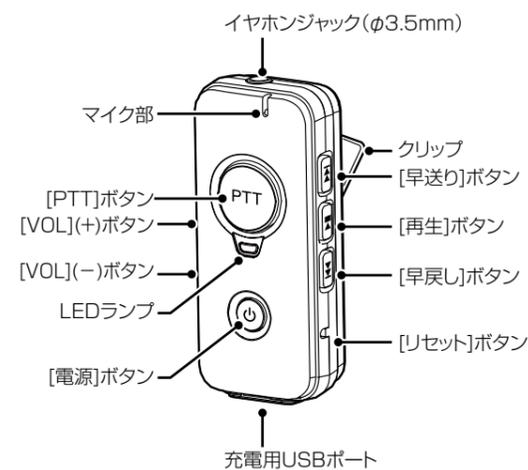


Bluetooth®ヘッドセット VS-3

本製品の名称とパスキーについて

- 本製品の名称：ICOM-BT002
 - パスキー：0000(ゼロ四つ)
- ※本製品の名称はBluetooth対応機器から検索する場合に表示される名称です。

各部の名称

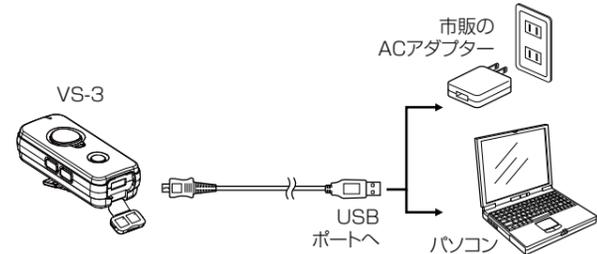


ご使用前に

ご使用前に、本製品を必ず充電してください。
また、使用中に、LEDランプが赤色で3秒に1回点滅する場合も、充電してください。

充電のしかた

- ①本製品の電源が切れているか確認する。
 - 電源が入っている場合は[電源]ボタンを長く(約3秒)押しします。
- ②充電用USBポートのゴムカバーを開け、付属の充電用USBケーブルを市販のUSBポート付きACアダプターやパソコンなどのUSBポートに接続する。
 - 充電温度範囲:0～45℃
 - 充電中は、LEDランプが赤色に点灯します。
 - 充電が完了すると、LEDランプが消灯します。



このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

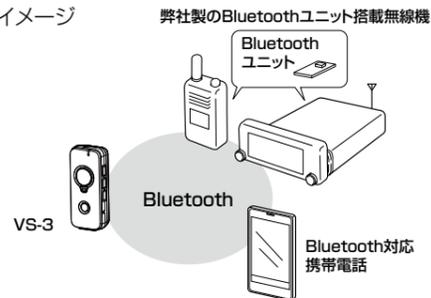
本製品は、Bluetoothに対応したPTTボタン付きペンダント型Bluetoothヘッドセットです。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

本製品の特長

本製品は、Bluetooth無線技術を使ったヘッドセットです。弊社製のBluetoothユニット搭載無線機や、携帯電話と組み合わせるとハンズフリー通話ができます。

※接続のイメージ



付属品

- イヤホン(SP-42 ケーブル長:約0.5m)+イヤークッション
- 充電用USBケーブル(OPC-2326:約1m)
- 取扱説明書①(本書)、取扱説明書②

※付属の充電用USBケーブルは、本製品専用です。本製品以外の製品に使用しないでください。

△充電時のご注意

充電時間は約3時間です。
充電時間が経過してもLEDランプが消灯しない場合は、充電用USBケーブルを取りはずし、充電を中止してください。
指定時間以上の充電は、寿命が低下したり、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
また、充電中は、本製品を使用できません。

イヤホンを接続する



長時間使用していると、耳が痛くなることがあります。適度にはずすなどしてご使用ください。

■安全上のご注意 (安全にご使用いただくために、必ずお読みください。)

使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。

次の「△危険」「△警告」「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

お読みになったあとは、いつでも読める場所に保管してください。

免責事項について

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

△危険 | この記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者、および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

- ◎ 車両の走行中はハンズフリー通話以外には使用しないでください。運転中の操作は交通事故やけがの原因になります。
- ◎ 付属または指定以外の充電用USBケーブルを使用しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。引火、火災、爆発の原因になります。
- ◎ 分解や改造は、絶対にしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。けが、故障の原因になることがあります。
- ◎ 火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。
- ◎ めれた手で絶対に触れないでください。感電の原因になることがあります。
- ◎ 製品の中に線材のような金属物や水を入れないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。内部のリチウムポリマー電池に引火して、爆発や破裂、火災などの原因になります。
- ◎ 充電状態のまま長時間放置しないでください。過度の充電は、本体や充電用USBケーブルの過熱や、破損の原因になります。

△警告 | この記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

- ◎ 民間航空機内では絶対に使用しないでください。交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
- ◎ 電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
- ◎ 充電用USBケーブルやイヤホンを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱や加工をしないでください。傷ついて破損して、火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 本製品を使用や保管するときは、赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所を選択してください。けが、感電の原因になります。また、誤って飲み込むと、窒息する原因になります。
- ◎ 本製品を電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 充電用USBケーブルやイヤホンを抜き差しするときは、ケーブルを引っ張らないでください。火災、感電、故障の原因になりますので、コネクタやプラグを持って抜いてください。
- ◎ 充電用USBケーブルやイヤホンが傷ついたり、コネクタやプラグの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。火災、感電、故障の原因になりますので、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- ◎ 万一、煙が出ている、変なおい音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

△注意 | この記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

- ◎ 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因になることがあります。
- ◎ 強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- ◎ 0℃～45℃以外では充電しないでください。
- ◎ 長期間使用しないときは、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
 - 約1ヵ月 :-20～+60℃
 - 約3ヵ月 :-20～+45℃
 - 約1年 :-20～+25℃
 ※リチウムポリマー電池を長期間放置すると、自己放電により復帰できなくなることがあります。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。ただし、コネクタ部分は、絶対に水を含ませた布でふかないでください。

Bluetoothの通信においては、周辺機器の影響で通信距離が著しく変化します。

- 電子レンジなどによる妨害
- 無線LANによる妨害

このような場合は、電子レンジなどの使用を中止したり、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。通信状況が不安定な場合は、Bluetooth機器と本製品を取り付けた無線機との距離を近づけると、改善することがあります。

定格

- 適合規格 : Bluetooth Ver3.0準拠
送信出力 : Class 1
対応プロファイル : HFP、HSP、A2DP、AVRCP
最大ペアリング機器台数 : 7台
※弊社製のBluetoothユニット搭載無線機と携帯電話などの機器との組み合わせで、最大7台まで使用できます。ただし、弊社製のBluetoothユニット搭載無線機だけで7台、または携帯電話などの機器だけで7台では使用できません。
- 外形寸法 : 28.2(W)×65.1(H)×17.8(D)mm (突起部含まず)
使用温度範囲 : -20～+60℃
充電温度範囲 : 0～45℃
重量 : 約30g

※このヘッドセットは、SCMS-T方式に対応しています。
※定格、外観、仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。

電波干渉についてのご注意

- 2.4GHz帯のBluetoothで通信をするときは、次のことから注意してください。
- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。
- ◎この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
- ◎万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか、Bluetoothのご使用をお控えください。
- ◎その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。
- お問い合わせ先**
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00～17:00)

2.4GHz現品表示記号の意味について

- 「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備
「FH」 : FHSS方式
「1」 : 想定干渉距離が10m以下
「---」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可



内蔵の電池について

- 本製品に内蔵のリチウムポリマー電池は、消耗品です。電池の消耗は、特性であり、故障ではありません。長期間保管していた場合は、電池の性能が低下します。※このような場合は、何度か充電と放電を繰り返すと回復することがあります。
- 周囲の温度が低い環境では、持続時間が短くなります。
- リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。リサイクルにご協力いただける場合は、リサイクル協力店へご相談ください。

電波法についてのご注意

- ◎本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用できません。
- ◎心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品を使用しないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。
- ◎医療機器の近くで本製品を使用しないでください。医療機器に電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。
- ◎電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。電子レンジによって本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。
- ◎本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解や改造をしないでください。

ペアリング切断時のご注意

電源を切るなどして、ペアリングを切断するときは、Bluetooth対応機器側のスピーカーから音が出るように切り替わります。Bluetooth対応機器側の音量ボリュームの上げすぎにご注意ください。

VOX機能の使いかた

弊社製のBluetoothユニット搭載無線機にあるVOX機能を有効にすることでVOX運用ができます。VOX機能の設定のしかたは、弊社製のBluetoothユニット搭載無線機の取扱説明書をご確認ください。

故障かなと思ったら

下記の現象は故障ではありませんので、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも異常があるときは、弊社サポートセンターまで、お問い合わせください。

現象	原因	処置
●電源が入らない	◎電池の消耗 ◎電池残量が不足している	●充電する
●ペアリングできない	◎ペアリングモードになっていない ◎Bluetooth対応機器の設定が間違っている ◎周辺でBluetooth対応機器が複数稼働している ◎周辺の無線LAN機器、または電子機器が妨害している	●ペアリングモードにする ●Bluetooth対応機器のペアリング設定を確認する ●ほかのBluetooth対応機器を停止させる ●ほかのBluetooth対応機器のない場所に移動する ●ほかのワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離をはなしたりする
●イヤホンから音が出ない	◎音量が小さくなっている ◎イヤホンプラグがはずれかけている ◎Bluetooth対応機器の音量設定が小さい	●[VOL](+)ボタンを押して、音量を設定しなおす ●イヤホンジャックに正しく差し込む ●Bluetooth対応機器の音量設定を上げる
●通話が突然切れる ●ノイズが入る	◎Bluetooth対応機器との距離がはなれている ◎周辺の無線LAN機器、または電子機器が妨害している	●Bluetooth対応機器との距離を近づける ※本製品との通信距離は約10mですが、周辺環境などによって通信距離が短くなる場合があります。 ●ほかのワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離をはなす
●電源が入っているが操作しても動作しない	—	●[リセット]ボタンをペン先などで長く(約3秒)押し、強制終了させる
●無線機が送信しない	◎無線機が送信周波数範囲外 ◎無線機のビジーロックアウト機能が有効で、受信状態になっている ◎MIC感度/VOX感度が適切でない	●周波数を合わせる ●受信が終わるまで待つか、周波数を変更する ●無線機のMIC感度/VOX感度を調整するか、本製品のMIC感度を調整する
●接続できない ●再接続できない	◎周辺でBluetooth対応機器が複数稼働している ◎周辺の無線LAN機器、または電子機器が妨害している ◎Bluetooth対応機器のBluetoothがONになっていない ◎Bluetooth対応機器との距離がはなれている	●下記の処置をしたあと、[電源]ボタンを約3秒押し、電源を入れ、自動接続をする ・ほかのBluetooth対応機器を停止させる ・ほかのBluetooth対応機器のない場所に移動する ・ほかのワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離をはなしたりする ・Bluetooth対応機器との距離を近づける ※本製品との通信距離は約10mですが、周辺環境などによって通信距離が短くなる場合があります。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

カスタマイズキーについて

弊社製のBluetoothユニット搭載無線機では、[再生]ボタン/[早送り]ボタン/[早戻し]ボタンを別の機能に割り当てできます。割り当てのしかたについては、弊社製のBluetoothユニット搭載無線機の取扱説明書をご確認ください。

